

# ユーロ圏金融政策（2023年2月）

## ECBの超タカ派姿勢に揺らぎなし

2023年2月3日

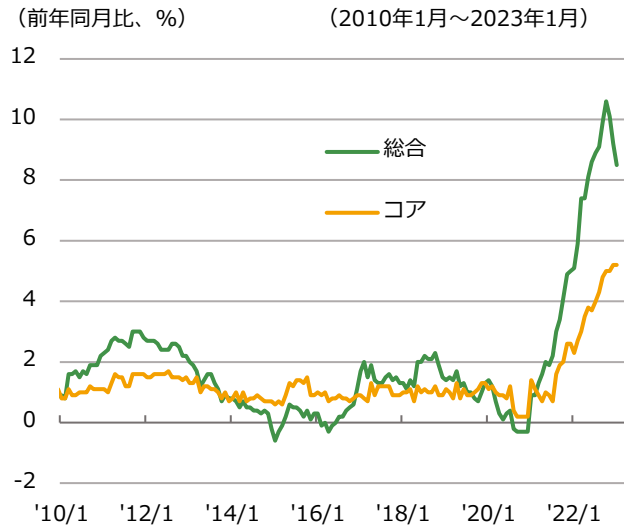
### 3月も0.5%ポイントの利上げ継続の意向

ECB（欧州中央銀行）は2月2日（現地）の理事会で0.5%ポイントの利上げを決定し、中銀預金金利（銀行がECBに資金を預け入れる際の金利）を2.5%としました。ECBは前回12月の理事会でインフレ見通しを大幅に上方修正するとともに、「金利は十分に引き締め的な水準へ向けて安定したペースで大幅に上昇し、その水準で一定期間留まる必要がある」と声明文に記し、0.5%ポイントで2回超の利上げをラガルド総裁が明言するなど、超タカ派姿勢への転換で市場を震撼させましたが、今回、その姿勢に揺らぎはありませんでした。実際、会合毎の決定と謳いつつも、次回3月の理事会でも0.5%ポイントの利上げを実施する意向を早々に声明文に記し、ラガルド総裁がその意向の強さを強調した程です。

ユーロ圏の消費者物価指数は直近の1月で前年同月比8.5%と、10月の同10.6%から3カ月連続で伸び率が鈍化しています。しかし、食品・エネルギー等を除くコアの消費者物価指数が12、1月とも同5.2%と、10、11月の同5.0%から依然加速している点をECBは懸念しています。

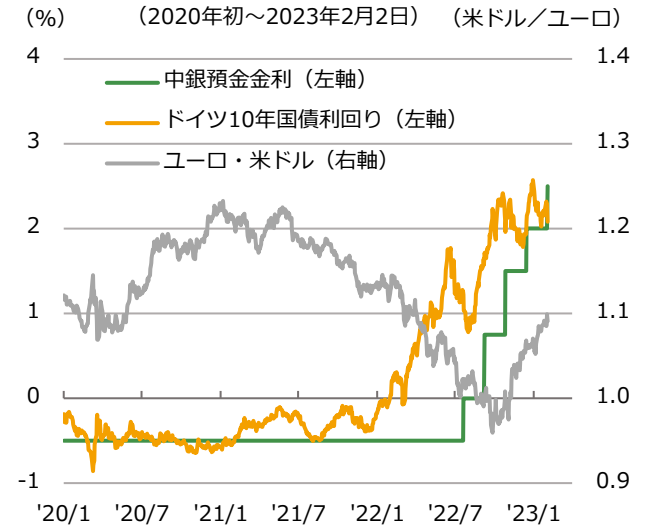
にも拘らず、この日のユーロ圏の債券利回りは国、年限を問わず大幅に低下し、株価は軒並み上昇しました。要因として、3月の利上げ後の金融政策の経路についてはその際に評価するとしたこと、物価見通しに係るリスクを「上振れ」から「より均衡している」へ改めたこと、あるいは英国市場の影響などが考えられますが、何れにせよ、市場はECBの超タカ派姿勢の継続を疑っていると言えそうです。

#### ユーロ圏の消費者物価指数



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列  
(出所) リフィニティブ

#### ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は決定日ベース  
(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。